泉大津市

決裁日 8 年 7月27日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊		＊＊		

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者
		＊＊				＊＊	

起票日	令和 8年 7月 27日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 8 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	18 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除			
金額	2,920円		所得税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	4回		雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000円		その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	26,980円		控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	573,020円	請求書番号			
源泉支払内容	**********				

件名	旅費 7/27～28 令和8年度第2回市町村長等議会議員特別セミナー参加旅費
摘要	

債権者等			
支払方法	21 現金払	支払希望日	令和8年 8月07日
住所			
名称	市民未来の会代表者 野田 悦子		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人		債権者番号	

領収			
住所		領収印	
氏名	市民未来の会代表者 野田 悦子		

上記の金額を領収しました。 令和8年 8月07日

支払済

令和 年 月 日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為確認

1

負担行為番号
08-000393

伝票番号
08-006364

呼出番号
00773422

整理番号
08-000004-04

08 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

8年7月28日

供覧	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員
	大塚		橋本					

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

令和８年７月17日

泉大津市長
南　出　賢　一　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名　市民未来の会
代表者名　野田悦子

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	２，９２０円		
内訳	令和８年７月２７日（月）～２８日（火） 令和８年度第２回市町村長等・議会議員特別セミナー 参加旅費		
支払先	井上　信久		
予算科目	旅　費	交付残額	573,020円
使用者名	井上　信久		

令和8年度

出 張 申 請 書

（出 張）

会派名	市民未来の会	氏名	井上 信久
出発・帰庁年月日	出発 令和8年7月27日	帰庁 令和8年7月28日	

出張先（順路）
全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件
令和8年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
和泉府中(自宅最寄駅)	km			円	円	円	円	円
｜（JR阪和線・関西空港線）		円	円					
大阪	31.6							
〃								
｜（JR京都線）								
京都	42.8							
〃								
｜（JR東海道本線・湖西線）								
唐崎	14.0 — 88.4	1,460						1,460
〃								
｜（　　線）								
復路	88.4	1,460						1,460
｜（　　線）							計	2,920
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

主管課用

令和8年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	市民未来の会	氏名	井上 信久
出発・帰庁年月日	出発　令和8年7月27日	帰庁　令和8年7月28日	

出張先（順路）　全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件　令和8年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
和泉府中(自宅最寄駅)	km			円	円	円	円	円
｜（JR阪和線・大阪環状線）		円	円					
大阪	31.6							
〃								
｜（JR京都線）								
京都	42.8							
〃								
｜（JR東海道本線・湖西線）								
唐崎	14.0－88.4	1,460						1,460
〃								
｜（　　線）								
復路	88.4	1,460						1,460
｜（　　線）							計	2,920
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

右の金額領収いたしました。

令和　　年　　月　　日

金額	¥2920

職名　市民未来の会

泉大津市会計管理者　殿

氏名　井上 信久　印

受講証明書

団　体　名　：　大阪府　泉大津市

所属・氏名　：　泉大津市議会 議員 井上 信久

研　修　名：令和８年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

期　間　：　令和8年7月27日（月）　～　7月28日（火）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和8年9月10日

全国市町村国際文化研修所

学　長　　小　池　信　之



□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	令和8年8月20日
差出名	市民未来の会　井上　信久		
あて名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	令和8年8月20日
件名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議				
主管 議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員					

処　理　上　の　意　見　及　び　注　意　事　項

日　時：令和8年7月27日（月）～7月28日（火）

出張先：全国市町村国際文化研修所

研修名：令和8年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

会派代表
野田

報告書

令和８年８月２０日

泉大津市議会議長　様

会派名　市民未来の会
出張者氏名　井上　信久

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

１　日　　時　　令和８年７月２７日（月）～７月２８日（火）

２　出 張 先　　全国市町村国際文化研修所

３　内　　容　　令和８年度第２回市町村長等・議会議員特別セミナー

４　所　　見　　次頁参照

4　所　　見

「講義」

泉大津市発　農と食と健康を守るためのサプライチェーンの再構築

泉大津市長　南出　賢一　氏

今回の講義では、令和の米騒動とも呼ばれる米不足を背景に、泉大津市が進める「農と食と健康」を一体的に捉えた取組について学んだ。

泉大津市は市域面積14.33平方キロメートルのうち、農地面積が約2.2%と非常に少なく、市内だけで必要な米を生産することは現実的に困難である。そのため、市では生産地になるのではなく「消費地として農業を支える」という考え方のもと、農家から直接米を買い付ける「ダイレクトサプライチェーン」の構築を進めている。

この取組で重要なのは、単に米を確保するだけではなく、生産者にとって安定した販売先、いわゆる「出口戦略」を整えることである。自治体や市民が継続して米を購入する仕組みをつくることで、生産者の経営安定につながり、結果として将来の食料供給を支えることになる。生産地と消費地が直接つながり、お互いを支える関係を構築するという考え方は、食料安全保障の観点からも重要であると感じた。

また、国の交付金を活用した「米EXPO」の開催などを通じ、米の価値や生産者の取組を市民に伝えることにも力を入れている。さらに泉大津市では、「市民の食と命を守る」「食べることで健康になる」という考えを大切にし、医食同源の推進や健康づくり推進条例など、食を健康政策につなげている。

今回の講義を通じて、農業政策、食料政策、健康政策をそれぞれ別々に考えるのではなく、一つのサプライチェーンとして捉える視点の重要性を学んだ。一方で、自治体による直接買付けを持続可能なものとするためには、価格、財源、品質、供給量の安定などについて継続的な検証も必要である。今後は、こうした取組が市民の健康や地域農業、生産者の所得向上にどのような効果をもたらしているのかについても注視していきたい。

「講義」

生成ＡＩは議会をどう変えるか？

～住民参加と政策力強化の観点から～

早稲田大学

デモクラシー創造研究所

招聘研究員　山内　健輔　氏

早稲田大学デモクラシー創造研究所研究員の山内健輔氏による講義では、急速に進化する生成 AI を地方議会にどのように活用し、住民参加や政策形成能力の強化につなげていくのかについて学んだ。

まず印象的だったのは、生成 AI の地方議会での活用が既に実務段階に入っていることである。「地域経営のための議会改革度調査」によると、回答 1,372 件のうち、議会だよりの作成に生成 AI を活用している議会は 243 件で前年比約 3 倍、住民からの問い合わせ対応や説明資料の作成は 100 件で約 4 倍、所管事務調査での利用も 80 件で約 4 倍となっており、利用が急速に拡大している。

具体的な事例として、浜田市議会では生成 AI 研修を契機に会議録作成の業務フローを見直し、委員会の要点筆記に丸 2 日を要していた作業を半日程度まで短縮した。また、墨田区議会では特別委員会の提言書作成に AI を活用し、理事者へのヒアリング、先進自治体調査、研修会、区民との意見交換会などで得られた多くの情報について、論点整理や提言内容の集約を行っている。単なる時間短縮だけでなく、大量の意見を一定の基準で整理することにより、より客観的な議論につなげている点は重要である。

講義では、議会機能を「①多様な意見を持ち帰る、②論点を整理する、③議論する、④結論を出す」という流れで捉え、①から③までに生成 AI を活用し、最終的な④の意思決定は人間が担うべきだとの考えが示された。この役割分担は極めて重要である。AI が提示する回答をそのまま政策判断とするのではなく、議員が事実確認を行い、地域事情や住民の声、価値判断を加えた上で決定する必要がある。

また、生成 AI 時代においては議会から市民への「情報共有」のあり方も大きく変わるとの指摘があった。市民が行政や議会について知りたいと思った際、今後は検索サイトだけではなく、まず生成 AI に質問するケースが

増えていく。議会が情報を適切な形で公開していなければ、AIが議会活動を正確に把握できず、市民と議会との距離がさらに広がる可能性もある。一方で、情報公開を充実させれば、AIが関連情報や情報源を示しながら、市民に議会活動を届ける新たな機会にもなる。

さらに興味深かったのが、「ブロードキャスト」から「ブロードリスニング」への転換である。これまでの議会広報は、議会から市民に広く情報を発信することが中心であった。しかし今後は、市民から寄せられる多数の意見をAIによって分類・可視化し、政策形成や意思決定に活用する「広く聴く」仕組みが重要になる。「聴くAI」のような取組は、従来のアンケートだけでは捉えにくかった多様な意見を政策に反映する可能性を持っている。

生成AIは、事実を集め、原因や現状を整理し、異なる立場から検討し、政策の論点や選択肢を示すことができる。今後はさらにAIエージェントとして、調査や分析を継続的に支援する活用も広がると考えられる。ただし、AIを導入するだけで議会改革が進むわけではない。誤情報や偏り、個人情報の取り扱い、判断責任の所在などについてルールを整える必要がある。

今回の講義を通じ、生成AIを単なる業務効率化の道具として捉えるのではなく、住民の声をより広く聴き、議論の質を高め、政策形成力を強化するための手段として活用する視点が重要であると感じた。これからの議員には、AIに判断を任せるのではなく、AIを使いこなしながら、人間にしかできない対話、合意形成、最終的な意思決定に一層力を注ぐことが求められる。

「講義」

公民連携で地域を再生する

～オガールが実践してきた協働のデザイン～

株式会社　オガール

代表取締役　岡崎　正信　氏

株式会社オガール代表取締役の岡崎正信氏による講義では、岩手県紫波町の「オガールプロジェクト」を題材に、行政と民間がそれぞれの強みを生かしながら地域の価値を高める、公民連携の考え方について学んだ。

公民連携では、公共施設を整備すること自体を目的とするのではなく、その事業によって地域に人が集まり、民間投資を呼び込み、持続的に地域の価値を高めていく視点が重要である。講義では、事業を成立させる要素として「不動産の価値」「建設マネジメント」「金利」の三つが示された。建物をつくることだけを考えるのではなく、完成後にどのように利用され、収益や地域への効果を生み出すのかまで考えて事業を組み立てる必要がある。

また、ウォーカブルシティの考え方についても触れられ、歩いて楽しめる空間や、人が自然に集い交流する場所をつくることが、まちの魅力や不動産価値の向上につながることを学んだ。単に道路や施設を整備するだけでなく、そこで人がどのように過ごすのかという視点がまちづくりには欠かせない。

特に印象に残ったのは、公民連携を成功させるための10原則である。入念な準備、共有できるビジョン、関係者への理解、リスクと利益の明確化、意思決定の仕組み、決めたことを実行する姿勢、リーダーシップ、迅速な情報共有、公正な取引、そして信頼を中心的な価値とすることが示された。

公民連携は、単なる行政のコスト削減や民間への業務委託ではない。行政、民間、地域住民などが「まちの価値を維持し、さらに高める」という共通目標を持ち、それぞれが責任を果たすことが重要である。泉大津市においても公共施設の再編や駅周辺の活性化などを進める際には、施設整備を出発点とするのではなく、将来の地域価値から逆算して事業を考える視点が必要であると感じた。

「講義」

政策議会の質問力

法政大学法学部　教授　土山　希美枝　氏

本講義では、地方議会における一般質問の役割と、質問力を高めることによって議員力・議会力を向上させる考え方について学んだ。

一般質問は、単に行政へ要望を伝えたり、答弁を求めたりする場ではなく、地域が抱える課題を明らかにし、その原因や行政の認識、今後の政策の方向性を問い、政策形成につなげていく重要な手段である。そのためには、質問するテーマを広げ過ぎず論点を明確にするとともに、現状やデータ、制度、他自治体の事例など必要な情報を十分に収集し、何が問題なのかを整理した上で質問を組み立てることが重要である。

また、一般質問を一議員だけの活動で終わらせるのではなく、議会全体の政策資源として蓄積し、課題や争点を市民に共有していく視点が求められる。質問の質を高めることは、行政への監視・評価機能を高めるだけでなく、議会として政策提案力を高め、市民にとってより良い自治体政策を生み出すことにつながることを学んだ。

【最後に】

今回の研修を通じて、食と健康を守る仕組みづくり、生成AIを活用した議会機能の強化、公民連携による地域価値の向上という、今後の自治体経営に重要な三つの視点を学んだ。共通しているのは、行政だけで課題を解決するのではなく、生産者、市民、民間事業者など多様な主体と連携し、将来を見据えた仕組みを構築することの重要性である。また、新しい技術や手法を導入するだけではなく、その目的や効果を検証し、市民にとってどのような価値を生み出すのかを常に考える必要がある。今回得た知見を今後の議会活動や政策提言に生かし、泉大津市の持続的な発展と市民生活の向上につなげていきたい。

以上。

泉大津市

決裁日　8　年　7　月　27　日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊		＊＊		

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊				＊＊		

起票日	令和　8年　7月　27日	所属	080100　市議会事務局
年度	令和　8　年度	会計	01　一般会計
予算区分	0　現年度		

科目		
	款	01　議会費
	項	01　議会費
	目	01　議会費
	事業	040000　議会調査研究事業
	節	18　負担金、補助及び交付金
	細節	90　その他
	細々節	06　政務活動費

		控除			タイムカード(出勤簿)確認	
金額	7,520 円		所得税	0 円		
支払回数	5 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	34,500 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	565,500 円	請求書番号				
源泉支払内容	**********					

件名	研究研修費　令和8年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー研修経費及び振込手数料
摘要	

債権者等				
	支払方法	21　現金払	支払希望日	令和8年 8月07日
	住所			
	名称	市民未来の会代表者　野田　悦子		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
	口座名義人		債権者番号	

領収			
	住所		領収印
	氏名	市民未来の会代表者 野田悦子	

上記の金額を領収しました。　令和8年　8月07日

令和　年　月　日

泉大津市　会計管理者　あて

1

支払済

支出負担行為確認

負担行為番号
08-000393

伝票番号
08-006365

呼出番号
00773424

整理番号
08-000004-05

08 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

8年7月28日

供覧	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

令和８年７月17日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名　市民未来の会
代表者名　野田悦子

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	７，５２０円		
内訳	令和８年７月２７日（月）～２８日（火） 令和８年度第２回市町村長等・議会議員特別セミナー 研修経費および振込手数料		
支払先	（公財）全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所		
予算科目	研究研修費	交付残額	565,500円
使用者名	井上　信久		

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
08-07-16	41364	通帳送金
記号		番号
*****		****[redacted]
取扱番号	お取引金額	
N021	*9,700	
	残高	
42P1	*92,766	

[redacted]銀行
[redacted]支店
[redacted]
[redacted]) [redacted]
[redacted]

送金料金　　*220円
振込予定日 08-07-16
イノウエ ノブヒサ

ご利用いただきましてありがとうございました。
ゆうちょ銀行

供覧	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	係長	総括主査	係員
	天塚		橋本				白倉	

全国研第247号
令和8年6月26日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長　小池　信之
滋賀県大津市唐崎二丁目１３番１号
登録番号 T6040005002305

研修受講決定兼請求書

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	井上 信久
コース名	令和８年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー
研修期間	令和8年7月27日（月）　～　7月28日（火）

1 研修受講に要する経費の納入について
下記金額を、指定期間内に指定口座に振り込んでください。

(1)　納入金額：9,700円
＜内訳＞
研修環境費(@2,500)(課税10%分)　5,000円
食費(課税10%分)　2,400円
研修生活動費(課税10%分)　2,300円
7300円
220円（振込手数料）

(2)　税区分による内訳：　(課税10%分) 9,700円(内税 881円)　合計 7,520円

(3)　指定期間：　令和8年7月15日（水）　～　7月22日（水）

(4)　指定口座：　[redacted]銀行　[redacted]支店　[redacted]No.
[redacted]銀行　[redacted]支店　[redacted]No.
名義人：[redacted]

注１）　振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず団体名を記入してください。
注２）　貴団体からの振込通知書の送付は不要です。
注３）　振込手数料は、貴団体で負担願います。

発行責任者：教務部長　伊藤　哲也
発行担当者：研修主幹　中井　秀樹
電話：077-578-5932(教務部・調査研究部)

受付
第 168 号
-8.6.29
泉大津市議会
事務局

令和８年度

第２回
市町村長等・議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、様々な行政課題について学び、施策を提案・実施していくことが求められています。

今回のセミナーでは、各分野でご活躍の先生方からご講演をいただき、改めて現代社会を捉え直すとともに、今後のわがまちの未来や地方行政に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

共催：地方公共団体金融機構

開催要領

日　程　令和8年7月27日（月）～7月28日（火）（2日間）

場　所　全国市町村国際文化研修所　JR京都駅より湖西線約15分　唐崎駅下車徒歩約3分

対　象　市町村長・副市町村長及び部長級職員、市区町村議会議員
2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数
来所による受講　170人　※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
オンラインによる受講　50人　※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材（1人1台）やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」ともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿　泊　研修所宿泊棟（宿泊型研修）　※外泊はできません。

経　費　来所受講：9,700円　左記金額は、研修、宿泊、食事（朝食1回、昼食1回、夕食1回）、資料代等を含みます。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。
オンライン受講：2,000円

申込期限　令和8年6月19日（金）まで
※先着順のため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。

申込方法
◎JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
◎議員の方は、議会事務局を通じて、お申込みください。
◎来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申込みください。

受講決定　受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先
公益財団法人 全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号　TEL.077-578-5932
[e-mail] kenshu@jiam.jp　[ホームページ] https://www.jiam.jp

泉大津市

決裁日　8 年 7 月 30 日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊		＊＊		

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者
		＊＊				＊＊	

起票日	令和　8年　7月　30日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和　8 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	18 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除			タイムカード(出勤簿)確認	
金額	58,210 円		所得税	0 円		
支払回数	6 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	92,710 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	507,290 円	請求書番号				
源泉支払内容	**********					

件名	広報広聴費「市民未来の会 会派通信」印刷代(A4 11,000枚)、振込手数料及び折込料 (8,800枚)
摘要	

債権者等				
支払方法	21 現金払	支払希望日	令和8年 8月14日	
住所				
名称	市民未来の会代表者　野田　悦子			
役職等/ 氏名				
銀行/ 口座				
口座名義人		債権者番号		

領収			
住所		領収印	
氏名	市民未来の会代表者 野田 悦子		

上記の金額を領収しました。　令和8年 8月14日

令和　年　月　日

泉大津市 会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

1

負担行為番号
08-000393

伝票番号
08-006546

呼出番号
00774076

整理番号
08-000004-06

08 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

8. 8. -3

供覧	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

令和８年７月２８日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名　市民未来の会
代表者名　野田悦子

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	５８，２１０円		
内訳	①「市民未来の会　会派通信」印刷代（A4　１１，０００枚）及び振込手数料 ② 同折込料（８，８００枚）		
支払先	① 株式会社　プリントパック ② 阪南メディアリンクス株式会社		
予算科目	広報広聴費	交付残額	507,290円
使用者名	市民未来の会		

(1)

発行日：2026年7月11日

預金口座振替による振込受付書

振込日	2026年7月11日
振込先	[redacted]銀行 [redacted]支店 [redacted]
金額	21,550円
手数料(税込)	52円
依頼人	シミンミライノカイイノウエノブ　ヒサ
管理番号	20260711-65154942

管理番号は楽天銀行において振込毎に割り当てられる番号です。
管理番号は振込受付書のほか、入出金明細や振込受付書発行書面でもご確認いただけます。

Rakuten 楽天銀行

楽天銀行株式会社
Rakuten Bank, Ltd

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
This is an electronic display of receipt data.

(1)

請求書
（インボイス）

2026年07月11日

市民未来の会　御中　　井上信久　様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。
何卒よろしくお願い申し上げます

株式会社プリントパック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890
登録番号 T5130001024625

お支払条件　銀行振込（先払）　　納品場所　ご指定場所

御請求金額　21,550円（税込）　　納品期日　7営業日

ご注文番号	内　　容	数量	単 価	金 額
PAC48829610	品名：市民未来の会　会派通信 A4 / 両面4色 / コート90 / 11,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁（ご注文サイズでお納め） 加工2： 、	1	21,550	21,550
	10%対象（税抜）			19,591
	10%消費税			1,959
	小計			21,550
合　計				21,550

特記事項
上記金額にはお振込手数料は含まれておりません。
弊社でのご入金確認後に印刷作業に入らせていただきます。（前払い）

[redacted]銀行（金融機関コード：[redacted]）
[redacted]銀行（金融機関コード：[redacted]）
[redacted]銀行（金融機関コード：[redacted]）
[redacted]銀行（金融機関コード：[redacted]）
[redacted]銀行（金融機関コード：[redacted]）
[redacted]銀行（金融機関コード：[redacted]）
[redacted]銀行（金融機関コード：[redacted]）

[redacted]支店（支店コード：[redacted]）
[redacted]支店（支店コード：[redacted]）
[redacted]支店（支店コード：[redacted]）
[redacted]支店（支店コード：[redacted]）
[redacted]支店（支店コード：[redacted]）
[redacted]支店（支店コード：[redacted]）
・[redacted]銀行からのお振込み：
記号番号：[redacted]
・他銀行からのお振り込み：

[redacted]預金 [redacted]
[redacted]預金 [redacted]
[redacted]預金 [redacted]
[redacted]預金 [redacted]
[redacted]預金 [redacted]
[redacted]預金 [redacted]
[redacted]預金 [redacted]

(2)

お客様コードNo. 01707　　08年07月分

領収証

No.

2026 年 7 月 21 日

市民未来の会
井上のぶひさ　様

合計金額：¥36,608-

但し、

上記の通り正に領収致しました。

阪南メディアリンクス株式会社
[redacted]
大阪府泉大津市本町6番5号
Tel. 0725-31-1627　Fax. 0725-33-7367
登録番号T2120101043603

内訳	金額

■備考

手形期日：　年　月　日　No.

適用：01日締め
集金日
現金

税抜金額	¥33,280
消費税額	¥3,328
合計金額	¥36,608

収入印紙

係

（注）社印がない場合は無効です。

(2)

2026年7月25日 **請求書**

〒595－0031
大阪府泉大津市
泉佐野市我孫子82－13
市民未来の会
井上のぶひさ 御中

サンケイ折込広告株式会社
〒556-0017 [redacted]
大阪市浪速区湊町2－1－57
難波サンケイビル3階
登録番号 T5120001064317

[御振込先]
[redacted]銀行 [redacted]支店
[redacted]預金 [redacted]

[御振込約束日]
2026年8月10日

下記の通りご請求申し上げます。

税抜金額(10%対象)	消費税額	当月ご請求額
33,280	3,328	36,608

所属	営業本部
担当	[redacted]
Tel	[redacted]
Fax	[redacted]

SC:3772

日付	摘要 仕様	サイズ	数量	単価	金額(税抜)	消費税額 (10%対象)
	≪日刊紙朝刊折込 ≫					
	広告名（井上のぶひさ）市政報告					
	市民未来の会、会派誌					
7月25日	・大阪府内 折込	A4	8,800	3.00	26,400	
	・手数料	A4	8,800	0.10	880	
	・センター転送料		1	6,000	6,000	
	合計				**33,280**	

大阪府泉大津市本町6番5号
阪南メディアリンクス株式会社 [redacted]
Tel0725-31-1627 Fax0725-33-7367

※　折込作業完了報告書　※

(2)

伝票番号：　2041828

折込日付：　2026年07月25日(土)

03772-0000-0000 井上のぶひさ　市政報告　　様

サンケイ折込広告株式会社
大阪市浪速区湊[redacted]５７
難波サン[redacted]３階
TEL：06[redacted]3090
FAX：06(4394)7094

サイズ：　Ａ４　　配布数：　8,800 部

地域名	新聞	販売店名	枚　数	日　経	備　　考
泉大津市	朝日	泉大津	1,750		
泉大津市	毎日	泉大津	1,700		
泉大津市	産経	助　松	1,200		
泉大津市	産経	泉大津	1,950		
泉大津市	読売	泉大津・府中	1,700		泉大津市内のみに配布ください（忠岡町は除く）
高石市	読売	高石泉大津北	500		泉大津市内中心に配布ください
		※　合　計　※	8,800		

上記枚数、折込手配完了致しました。

市民未来の会　会派通信

市民未来の会　会派結成について

政党や立場の違いにとらわれることなく、市民の皆さまの声を第一に考え、「泉大津市の未来にとって何が必要か」を基準に行動するために結成した会派です。

私たちは、市民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、子どもから高齢者まで、誰一人取り残さないまちづくりを目指して活動してまいります。これからも、会派一丸となって泉大津市の未来のために全力で取り組んでまいります。



◆野田　悦子
のだ　えつこ
◆３期目
◆会派代表
◆総務都市委員会
委員長
◆臨海地域整備対策
特別委員会
◆都市計画審議会



◆井上　信久
いのうえ　のぶひさ
◆１期目

◆厚生文教委員会
副委員長
◆自治体連携・観光
推進対策特別委員会

会派通信の発行にあたって

このたび、市民未来の会では、初めて会派通信を発行することになりました。議会で何が話し合われ、何が決まったのかを市民の皆さまにより分かりやすくお伝えするためです。

今後は、定例議会ごとに年４回の発行を予定しています。
市政の動きや会派の考え方を分かりやすくお届けしてまいります。

令和8年5月臨時議会で決まったこと

臨時議会では、常任委員会・特別委員会などの委員の選任と、各委員会の委員長・副委員長が決定されました。
市民未来の会では、次の役職を務めることになりました。

✔ 野田 悦子　総務都市委員会 委員長
✔ 井上 信久　厚生文教委員会 副委員長

市民の皆さまの声を市政に届けられるよう取り組んでまいります。

市民未来の会　会派通信

●令和8年5月臨時議会

新しい委員会体制がスタートしました。

①臨時議会って何?

📌臨時議会とは、議員が市に質問する【一般質問】のある定例議会とは違い、年に一度、改選と急ぎの議案審議のために開催されます。

今回の5月臨時議会では、

◆常任委員会の委員選任

◆特別委員会の委員選任

◆各委員会の委員長・副委員長の選出

が行われました。

②常任委員会って何?

📌市議会では、さまざまな議案を専門的に審査するため、担当分野ごとに常任委員会が設置されています。

泉大津市議会には、「総務都市委員会」と「厚生文教委員会」の2つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属して、市政の課題について詳しく調査・研究を行っています。

③総務都市委員会って何?

📌「まちづくり」と「市役所の運営」を担当する委員会です。

主な審査内容：市の予算・財政／都市整備・道路・公園／上下水道／市役所の組織・行政改革／ＤＸ（デジタル化）など

④厚生文教委員会って何?

📌「暮らし・福祉・教育」を担当する委員会です。

主な審査内容：子育て支援／学校教育／医療・健康等／高齢者福祉／環境・ごみ行政／生涯学習・文化など

あなたのご意見をお聞かせください。

皆さまからいただいたご意見やご要望を、市政へ届けるため活動します。お気軽にお声掛けください。